



INTERNATIONAL
PACIFIC
UNIVERSITY

環太平洋大学

大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム講座

東京キャンパス

国際経済経営学部 公開講座

聴講料
無料

2026年度テーマ

「グローバル時代に 価値共創を担う人材の育成」

長らく閉塞感漂う状況から脱却し、人々が生き生きと暮らせる社会を創り上げていくには、経済を牽引する企業が新たな価値を創造していくことです。それには、海外市場などの知見を持つ人々と一緒になって、魅力的な事業を推進していける人材の育成が鍵になります。このような人材を、産官学連携を通じて育成する時代に入ってきました。講師の各々の専門の視点から分かりやすく講義をしていただき、地域社会に発信いたします。

第2回

6/13

(土)

14:00~15:30

お申し込みはこちら



岐路に立つグローバル化 ～地政学リスクに立ち向かう人材の育成

亜細亜大学都市創造学部教授・元日本経済新聞論説委員
後藤 康浩 (ごとう やすひろ)

米ソ冷戦崩壊後の1990年代初頭に始まったグローバル化は、米中間の「新冷戦」、ロシアのウクライナ侵攻、トランプ関税、グローバルサウスの台頭など新たな対立構図が姿を現すとともに勢いを失いつつある。世界の分断は各地で地政学リスクを拡大させ、日本企業は原材料、製品のサプライチェーンから工場立地、市場開拓など幅広い分野で困難に直面している。こうした危機を乗り越えるには、歴史と地理の2軸でしっかりした世界観を持ち、現場に立って、現実には怯まない人材が欠かせない。コンサルやAIに依存しすぎず、自ら社内人材を鍛え、育成する新たな発想、メソッドが今、必要なのである。

お問い合わせ

IPU・環太平洋大学 東京キャンパス
講座担当まで (平日 9:00 ~ 17:00)

047-328-6166

〒272-0001 千葉県市川市二俣 625-1

IPU・環太平洋大学

「国際経済経営学部」公開講座②

「岐路に立つグローバル化～地政学リスクに立ち向かう人材の育成」

講師紹介



後藤 康浩

ごとう やすひろ

亜細亜大学都市創造学部教授・
元日本経済新聞論説委員

Profile

早稲田大学政治経済学部卒 豪 Bond 大学 MBA 修了。1984 年日本経済新聞社入社、社会部、国際部を経て、バーレーン、ロンドン、北京などに駐在。国内では産業界を幅広く担当し、論説委員、編集局アジア部長、編集委員などを経て、2016 年 4 月に亜細亜大学都市創造学部教授に転身。アジアの産業構造分析、アジア経済を研究。著書（単独）に『強い工場』『勝つ工場』『アジア力』『ネクストアジア』『資源食料エネルギーが変える世界』『アジア都市の成長戦略』などがある。現在、山陰合同銀行の社外取締役も務める。

会場案内

千葉県市川市二俣 625-1

JR・東京メロ・東葉高速鉄道西船橋駅南口より徒歩約 12 分



【発着場所】
西船橋駅南口
“くすりの福太郎” 向かい側

当日は、送迎バスを運行いたしますので、ご利用ください。

[行き] 13:20、13:40 出発

[帰り] 15:45 出発

お申し込み・お問い合わせ IPU・環太平洋大学 東京キャンパス 講座担当まで

フォーム



電話

047-328-6166

平日 9:00 ~ 17:00

FAX

047-328-6163

FAX 申込書

「岐路に立つグローバル化～地政学リスクに立ち向かう人材の育成」

申込日： 年 月 日

フリガナ			
お名前		ご職業	
電話番号 または メールアドレス			

※個人情報の取り扱いについて

聴講申し込みの際、お名前・電話番号など、ご記入またはお知らせ頂いた個人情報はその他の目的に利用することはありません。